

研究課題名	障害のあるスポーツ競技者における口腔内環境の実態調査
研究責任者名	広島大学病院障害者歯科 教授 岡田芳幸
研究期間	実施許可日 ~ 2030年 12月 31日
対象者	<p>1) スペシャルオリンピックス開催時に実施されるスペシャルスマイルズに参加する知的障害のある人を含む障害者スポーツ競技者。</p> <p>2) 1) の障害のある人の身の回りの方。</p>
意義・目的	<p>スペシャルオリンピックス（以下 SO）は知的障害のある人にスポーツトレーニングと競技の場を提供する国際的なスポーツ組織であり、知的障害のある人の健康増進と知的障害のある人と地域の人々との交流を促進する役割を担っています。知的障害のある人では自己の体調に関して表現することが難しい場合があること、また学校等を卒業した後は定期健診の機会が減少することから疾病の早期発見が困難な状況であることが問題となっています（志賀英明, MB ENT, 2020）。そのため、SO では口腔領域の疾病の早期発見・早期治療を可能にすることを目的として、競技大会開催時に継続的な歯科健診の機会を提供するスペシャルスマイルズ（以下 SS）を併催しています。</p> <p>2022年11月に開催された SO2022 広島大会においても SS が併催され、知的障害のある人を対象に歯科健診を行い、健診終了後には参加者の口腔内に関するアンケートに任意で回答して頂きました。そこで本研究では、SS での歯科健診結果およびアンケート結果からスポーツを行う知的障害のある人の歯科疾患罹患率、ブラッシング状況、スポーツと口腔の関わりについて業務改善の為の知見が得られました。さらに、我々は SS と同様に知的障害を含む様々な種類の障害を有するスポーツ競技者に対して歯科健診を行い、その結果から特徴的な傾向を認めました。障害者スポーツと口腔との特徴的な関連を明らかにすることを目的に、これらの歯科健診を通して得られた歯結果について報告を行いたいと考えています。</p> <p>本研究によりスポーツを行う障害のある人の口腔内の特徴を把握することができます。さらに本研究結果から障害のある人がスポーツを実施するうえで歯科疾患予防、口腔外傷予防の為に留意すべき事項についても明らかにすることで、障害のある人により安全にスポーツを楽しんでもらう環境づくりに貢献することができると思います。</p>
方法	<p>SO 開催時に実施される SS 参加者を対象に行う歯科健診結果および SS 終了後に任意で回答頂く無記名 web アンケートの結果を用いて分析を行います。</p> <p>その他、SO 参加者以外の障害者スポーツ競技者を対象とした歯科健診を行い、その結果について分析を行います。</p>

(歯科健診)

日常でのブラッシング状況、自覚症状の有無、口腔内診査（現在歯、未処置歯、処置歯、喪失歯、要注意乳歯、要観察歯）

(Web アンケート) Google Forms (Google 社)

アンケート回答者：対象者の身の回りの人

アンケート対象者：SS 参加者及び障害者スポーツ競技者

主な調査項目：回答者と対象者との続柄、対象者の年齢、性別、障害の種類、スポーツ経験、生活場所、歯磨きの状況、日常での飲み物、スポーツマウスガードの使用について、スポーツ中の外傷経験について、スポーツ中の脳震盪の経験について。

歯科健診結果から取得した情報は、氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにして研究に用います。アンケートは無記名で実施しており、個人が特定できる情報は含まれていません。

共同研究機関

ありません

試料・情報の管理責任者

広島大学病院 障害者歯科 教授 岡田芳幸

個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

アンケートは無記名でどなたの回答か判別できないため、使用するデータから取り除くことはできませんが、研究に歯科健診結果を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5788

広島大学病院障害者歯科 助教 吉田結梨子